



名古屋高速 歴史パネル展の開催について

～ 名古屋高速道路 50 年の歴史をパネルと映像で綴る ～

名古屋高速道路公社は、名古屋都市圏における自動車交通の円滑化、都市機能の増進を図ること等を目的に、1970年9月24日に全国で最初の地方道路公社として設立され、2020年には設立50周年を迎えました。

名古屋高速道路の建設工事は1972年1月の高速3号大高線の堀田地区から始まり、途中、工事を中断した時期もありましたが、沿線地域にお住まいの方々のご理解とご協力を得て、2013年11月に計画路線81.2kmを全線開通しました。

今般公社では、これまで支えていただいた全ての皆様に感謝の気持ちを伝えるとともに、名古屋の発展とともに歩んできた名古屋高速道路の姿を伝えるため、愛知県及び名古屋市の協力のもと、名古屋高速道路の歴史パネル展を下記のとおり実施しますのでお知らせします。

記

名古屋高速 歴史パネル展の開催

名古屋高速道路50年の歴史をパネルと映像で綴ります

(詳細は別添チラシのとおり)

金山総合駅会場

日時：2021年2月27日(土)、28日(日)

場所：金山総合駅コンコース(南口付近)

名古屋都市センター会場

日時：2021年3月2日(火)～3月21日(日)

場所：名古屋都市センター11階展示スペース

パネル展終了後は、ネックスプラザ(北区清水四丁目17-30黒川ビル)にて展示。

パネル展は、新型コロナウイルス感染防止対策を施して開催します。

注意事項

- (1) 当日、ご取材いただける場合は、令和3年2月26日(金)15時までに広報課(052-919-3236)までご連絡ください。
- (2) 感染症対策のため、ご来場時は必ずマスクの着用をお願いします。
- (3) 発熱や体調不良の方の取材はご遠慮ください。
- (4) 新型コロナウイルスの感染拡大状況により、急遽中止となる場合があります。

【参考：設立50周年の歴史に関するその他の取り組み等について】

歴史看板の設置及び除幕式

名古屋高速道路建設の歴史の一端を紹介する看板を、北区萩野地区（萩野暫定出入口のあった地）と瑞穂区堀田地区（名古屋高速道路着工の地）の2箇所を設置します。

また、設置にあたっては、地域の方々及び公職者が参加する小規模な除幕式を実施します。

《歴史看板除幕式 日時と会場》

A．北区萩野地区

日時：2021年2月9日（火）午前10時～

会場：ネクスプラザ（北区清水4-17-30）

B．瑞穂区堀田地区

日時：2021年2月17日（水）午後2時～

会場：ブラザーミュージアム（瑞穂区塩入町5-15）

A Bとも会場での式終了後、看板設置箇所まで移動し、除幕。

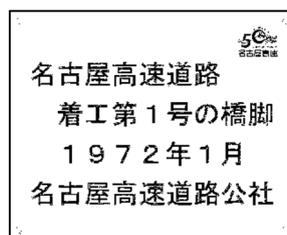
取材を希望される場合は、広報課（052-919-3236）までご連絡ください。

着工第一号橋脚への銘板の設置

名古屋高速道路の着工第一号の橋脚（堀田地区、脚管理番号「大112」）へ記念銘板を設置

設置日：2月中旬（瑞穂区堀田地区の歴史看板除幕式までに設置）

（右は銘板イメージ 400m×500m）



橋脚ラッピングアートの掲出

アジア競技大会（2026 / 愛知・名古屋）のメインスタジアムに近い堀田地区に、既に市内で掲出されている橋脚ラッピングアート10点を集約して掲出。

場 所：名鉄堀田駅前交差点

掲出日：2月中旬（瑞穂区堀田地区の歴史看板除幕式までに実施）

名古屋高速道路50年の歴史をパネルと映像で綴る



名古屋高速 歴史パネル展

名古屋高速道路公社

名古屋の発展とともに歩んできた
名古屋高速道路公社が設立から50周年を迎えました。
記念すべき名古屋高速道路着工から、
より便利に、より身近な存在として延長されてきたその歴史をパネル展でふり返ります。
あなたの思い出とともに、懐かしい名古屋の道をご覧ください。



■ 50周年記念映像も上映!

■ 2021年春、高速道路料金が変わります!

金山総合駅会場

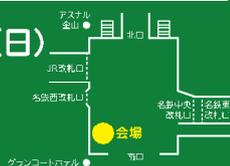
入場無料

2021年2月27日(土)・28日(日)

午前9:00～午後5:00

金山総合駅コンコース

(南口付近)



名古屋都市センター会場

入場無料

2021年3月2日(火)～21日(日)

午前10:00～午後6:00 (土・日・祝日は午後5:00まで)

名古屋都市センター 11階展示スペース

(まちづくり広場常設展示コーナー)



共催：名古屋市

後援：愛知県

お問い合わせは：名古屋高速道路公社 ☎052-919-5400

名古屋高速の歴史を刻む、まちしるべ(歴史看板)が誕生。 多くの地元の皆さまのご理解とご協力の記念碑でもあります。

名古屋高速道路着工の地



1972年1月、この堀田地区から名古屋高速道路は、建設の第一歩を踏み出しました。

左の写真は、現在の堀田駅南交差点の南側、着工第1号の橋脚の建設当時の様子です。しかし、当時は、自動車交通による環境への影響が大きな社会問題となった時期であり、1973年3月、都市高速道路関連予算が凍結となり、工事を一時中止しました。

右の写真は、名鉄名古屋本線堀田駅北側の橋脚が立ち上がった様子です。

その後、沿線にお住まいの方々のご理解とご協力を得て、最初の着工から7年半の歳月を経て完成し、1979年7月25日、高辻～大高間10.9キロが名古屋で初めての都市高速道路として開通しました。



1号楠線の建設



国道41号の新川中橋(庄内川・矢田川)付近は、交通渋滞の激しい箇所であったため、名古屋高速道路1号楠線の早期完成を目指し、1972年9月に、庄内川・矢田川内の工事から着手しました。

しかし、全国的に環境への意識が高まる中、事業を進めることへの理解を得るため、1978年9月、工事を一時中止しました。

その後、先行して整備した区間を利用して、交通渋滞を緩和させるため、萩野通に暫定出入口を設け、楠～萩野間2.2キロを開通させる計画を立てました。沿線にお住まいの方々のご理解とご協力を得て工事を再開し、最初の着工から16年後の1988年12月21日に楠～萩野間が開通しました。

1994年11月に萩野暫定出入口は、その役割を終え、1995年9月には1号楠線全線(楠JCT～東片端JCT)間5.6キロが開通しました。

写真左: 庄内川・矢田川内に建設された橋脚橋桁
写真右: 萩野暫定出入口



名鉄堀田駅前の橋脚に第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)の競技種目と名古屋のまちのイメージが融合したラッピングアートが出現します。

名古屋高速道路公社と名古屋芸術大学の設立・開学50周年を機会にコラボレーションして始まった橋脚ラッピングアート。地域の魅力向上と賑わいの創出を図ることを目的に既に名古屋市内に10点のアートが掲出されています。今回それら全てを、名古屋高速着工の地で、大会のメイン会場である瑞穂公園陸上競技場に近い堀田に集約して掲出します。



これら10点のラッピングアートは名古屋芸術大学(ヴィジュアルデザインコース)の作品です。 ※名古屋高速道路橋脚のラッピングアートをご覧の際は、車の往来等に十分注意の上、安全な場所からご覧ください。また、お車でお越しの際は十分に安全を確保し、路上駐車はお控えいただきますようお願いいたします。

ご紹介したアート10点は、ネクス・プラザ(名古屋高速道路広報資料センター)でもご覧いただけます。

ネクス・プラザへ行く! **NEX PLAZA information**

名古屋市北区清水四丁目17-30 名古屋高速道路公社黒川ビル内 Tel.052-919-3241

アクセス 地下鉄名城線「黒川」駅1番出口より南へ徒歩5分 開館時間 AM10:00～PM5:00(入場無料)

休館日 毎週月曜日(月曜日が祝休日の場合は翌日)・年末年始(12/29～1/3) 駐車場 地下1階 乗用車30台(無料)あり

